

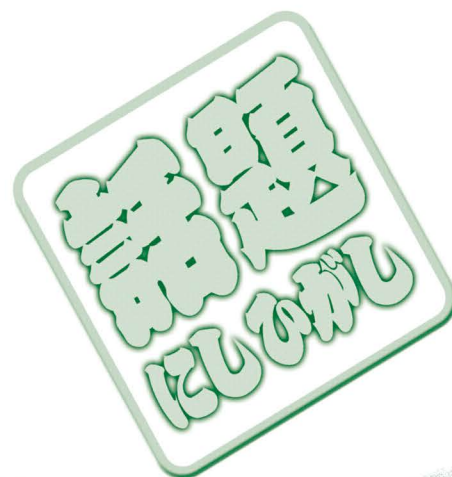
全国・東北大会へ意気込み

水泳と陸上競技の全国大会、相撲の東北大会に出場する小中学生9人が、8月3日（月）、相川町長に大会出場の報告をしました。

B&G 全国ジュニア水泳大会で本県チームのキャプテンを務める下山広嗣君（鶴田中3年）は「中学最後の大会なので感謝の気持ちを忘れず頑張りたい」と述べていました。

○このほかの出場選手は以下のとおり。

▷ B&G 全国ジュニア水泳大会→坪田愛生さん（鶴田中2年）、安田光来さん（鶴田小6年）、下山紗嬉さん（同6年）、安田光希君（同4年）、平山心結さん（同4年）▷全国小学生陸上競技交流大会→工藤白衛君（鶴田小6年）、工藤彩由佳さん（同6年）▷東北学童相撲大会→長内風道君（梅沢小4年）



あなたの地区の楽しい催しや出来事などがありましたら、役場総務課まちづくり班（内線264）までお知らせください。



△全国・東北大会に出場する選手の皆さん

英語教材を町に寄贈

8月5日（水）、鶴田町建設協会（松山淳会長）の皆さんが、小中学校の英語教育へ役立ててもらいたいと、本やCD、DVDなど約20万円相当の英語教材を町へ寄贈しました。

寄贈は、町が平成18年度に国の英語教育特区認定を受けてから続けられており、今回で9回目。町では、子供たちが英語に触れる機会を増やし、興味を持ってもらうため、町内の幼稚園や保育所、小中学校で英語教育を実施しています。

松山会長は「今後も町の子供たちの英語力向上のために協力したい」と述べ、相川町長は「子供たちにもっと英語に興味を持ってもらえるよう教材を活用したい」とお礼を述べていました。



△寄贈された教材と目録を手渡す松山会長（左から2人目）

相原町地区に子ども会発足

当町の相原町地区に子ども会（渋谷春美会長）が発足し、8月5日（水）、早朝のラジオ体操で活動をスタートさせました。

子ども会は、住民同士のコミュニケーションが取れるようにと、永田房男町内会長、相原幸せの種まき運動の菅野忠範委員長、自治防災クラブの神正治会長らが中心となり、発足させました。

当日は、弘前実業高校新体操部（齊藤比呂之顧問）の部員10人も参加。齋藤さんの指導のもと、子どもたちが元気いっぱい体を動かしたほか、新体操部の生徒がマットの上で新体操を披露。バック転などの指導も行われ、参加した子どもたちや保護者らが気持ちの良い汗を流していました。



△体操部の部員に補助してもらいながらバック転に挑戦

全国大会での健闘を誓う

第46回全国中学校柔道大会に出場する鶴田中学校柔道部の生徒が、8月6日（木）、相川町長を訪ね、全国大会での健闘を誓いました。

役場を訪れたのは、高橋寛人君（3年、個人90kg級）、工藤毬矢さん（3年、個人44kg級）、渋谷舞さん（3年、個人48kg級、団体）、宮崎七海さん（2年、個人63kg級、団体）、佐藤星麗七さん（2年、個人70kg級、団体）、寺山凛さん（1年、団体）の6人。

「練習してきたものをすべて出して個人、団体ともに優勝したい」と抱負を述べた渋谷さんは、8月17日から20日まで、函館市で開催された同大会の個人48kg級で見事優勝しました。



△全国大会への出場を決めた鶴田中学校柔道部の生徒の皆さん

水面に浮いて世界記録に挑戦

8月22日（土）、鶴田町B & G海洋センターは水元中央小学校のプールで、「1分間ペットボトル浮き」の世界記録に挑戦しました。当日は町内の小中学生から大人まで25人が参加。水温が低い中、午前11時の時報を合図に、ペットボトルを抱えながら水面に浮かび、22人が成功となりました。

同日は、全国34カ所のプールで世界記録への挑戦が一堂に行われ、B & G財団が成功した人数を集計し、挑戦の様子を撮影した映像などをギネスに提出し、記録認定を申請する予定。

挑戦した一戸路乃さんは「思ったより水に浮くのが難しかった。世界記録挑戦は一生の思い出になった」と話していました。



△「1分間ペットボトル浮き」で世界記録に挑戦する町民の皆さん